ビジネス法務シリーズ③

# 景品表示法入門コース

## 景品表示法のポイントを具体例とともに学びます。

景品表示法（不当景品類及び不当表示防止法）で規制される「過大な景品」、「不当な表示」とはどのようなものか、違法な「景品」、「表示」となる要件など「景品表示法」のポイントを具体的な例をあげながら短時間で学びます。

### ＜本コースのねらい＞

- 「景品類」の定義、「一般懸賞」、「共同懸賞」、「総付景品」といった提供方法による景品の最高額・総額等の規制内容の違いなどを学びます。
- 規制対象となる「表示」の種類や、「優良誤認表」、「有利誤認表」、「その他誤認表示」といった「不当表示」と判断される条件などについて、具体例を交えて解説します。

### ＜コースカリキュラム＞

| | |
|---|---|
| 第1章<br>景品と表示の法律を知る | 1-1 景品表示法の目的<br>1-2 景品類とは①<br>1-3 景品類とは②<br>1-4 景品類とは③<br>1-5 景品規制とは①<br>1-6 景品規制とは②<br>1-7 表示とは①<br>1-8 表示とは②<br>1-9 優良誤認表示<br>1-10 有利誤認表示、その他誤認表示<br>1-11 事業者に課せられる義務と罰則・課徴金 |
| 第2章<br>ケースで学ぶ景品表示法 | 2-1【景品事例】売上予定総額と実際の売上総額との差異<br>2-2【表示事例】誤った情報による不当表示<br>学習の終わりに |

### ＜概要＞

| | |
|---|---|
| 受講対象者 | ビジネスパーソン全般 |
| 監　修 | ●本井　克樹<br>本井総合法律事務所　弁護士 |
| 仕様 | ●想定学習時間：1時間<br>●最短実行時間：30分<br>●テスト数：1（全10問、ランダム出題） |

©JMA MANAGEMENT CENTER INC 無断複製転載を禁じます